科目名称：	障害児保育研究Ⅰ	
担当者名：	中村　明成　山田紀子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1

授業の目的・テーマ

課題図書を活用し、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションで、理解を深める。実習ⅠⅡを通してケースカンファレンスを実施し、事例研究を深める。保育計画、保育内容、保育評価にも着目し、研究成果としてまとめる。障害児保育を視点として自らの保育観の形成につなげていく。

授業の達成目標・到達目標

課題図書の理解を深める。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションの力量を高める。「障害児」だけでなく、子どもの発達とどう関連していくかを理解する。

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、子ども・保護者・地域住民との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	保育・幼児教育を取り巻く様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	保育・幼児教育の分野において、基礎知識を身につけるとともに、使命感、倫理観、責任感をもって専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 （レポート含む）	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)					0
幼児教育DP(3)			50	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容１》（中村）障碍者支援施設支援員　社会福祉士　ケアマネージャー	《経験年数１》 １１年１０か月
	《内容２》（山田） 保育士　幼稚園教諭	《経験年数２》 １２年４か月　１９年
	《内容３》	《経験年数３》
	《内容４》	《経験年数４》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
課題図書	事前に読みこみ、読書会プリントにまとめて、よく理解できている	事前に読みこみ、読書会プリントを十分作成できている	事前に読み、読書会プリントに記入できている	事前の読みができていない
読書会プレゼンテーション	担当した内容を、グループでよく話し合い、まとまった発表ができ、他の質問もできる	担当した内容をグループでよく話し合い、まとまった発表ができる	担当した内容をグループで話し合い、発表ができる	グループでの話し合いが不十分である
課題レポート	課題の内容をよく理解し、自分の立場で考えた考察を、文章にまとめることができる	課題の内容をよく理解し、自分の言葉で文章にまとめることができる	課題の内容を理解し、文章にまとめることができる	課題の内容の理解が不十分である

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第１回　オリエンテーションと学習の進め方	課題図書を読んでおく	40分
第２回　課題図書についての読書会個人まとめ	読書会シートの記入をしておく	60分
第３回　課題図書についての読書会グループ別討議(グループワークとディスカッション)	読書会シートに補足事項を書き加える	60分
第４回　課題図書についての読書会グループ別討議(グループワークとディスカッション)	他の学生の意見を補足記入し、まとめておく	30分
第５回　全体でのグループ別発表（プレゼンテーション）	他の学生の意見を補足記入し、まとめておく	30分
第６回　全体でのグループ別発表とまとめ（プレゼンテーション）	自分の担当以外の章をまとめ、シートに記入しておく	30分
第７回　課題図書発表後個人レポート作成	自分の担当以外の章をまとめ、シートに記入しておく	30分
第８回　課題図書発表後個人レポート作成	課題図書を再度読み込んでおく	30分
第９回　インターンシップ（現場参加）先の調整と事前学習	課題図書を再度読み込んでおく	30分
第10回　障害児保育・統合保育の実際	インターンシップ先の情報を調べる	30分
第11回　その他の障害児（者）向けの福祉サービスのあらまし	実習での体験を振り返る	30分
第12回　障害児（者）に関する法制度、発達検査法、用語についての文献調べ	障害児（者）に関する文献を調べておく	30分
第13回　文献調べの発表（プレゼンテーション）	調べた内容をノートにまとめておく	45分
第14回　ふりかえりレポート作成	他の学生の文献調べを補足記入しておく	45分
第15回　授業全体のまとめと後期に向けて	授業全体の内容を振り返る	45分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、授業開始までに課題図書を読み込み、読書会シートを記入しておくこと。図書館での文献調べをする。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 実施しない。　　その他の評価配分は、以下のとおりである。

授業でのレポート作成５０％、授業への積極的関与５０％

課題に対してのフィードバック

ディスカッションには、教員も加わり、それぞれの学生の理解を深める。ふりかえりレポートで、授業への理解を確認する。

教科書・参考書

教科書：赤ちゃんと脳科学　小西行郎　　集英社新書　　（授業の中で該当ページを示し使用する）